

# あなたの町のサークル訪問

撮影：西田 敦 取材：編集部

埼玉県朝霞市

## ボールルーム・ダンスあさか

- ▲ 男性会員を指導する誠さん
- ▲ 女性会員に説明する久子さん
- ▼ ウォークの練習



▲「ボールルームあさか」の皆さん

# 創立して25年。ダンスの底辺拡大に情熱を燃やす夫婦が始めたダンスサークル

サークルが創立されてから25年、朝霞市にある中央公民館で活動を続けている「ボールルームダンスあさか」を指導しているのは、このほど本誌から「サークルで上達するボールルームダンス「ラテン編」を出した神元誠・久子さん夫妻です。

サークル結成のきっかけは、ダンスを習いたいけれど、ダンス教室の個人レッスンの費用は高い、ダンス教室のようなレッスンをサークルでできないか、というもので、神元夫妻がスタートさせました。

創立当初は「ASDDC」（朝霞社交ダンスサークル）の名称で活動をしていました。海外の文献を翻訳したり、ビデオで研究したり、外人チャンピオンを招いてのパーティーを開催したり、と多彩に活動してきました。

創立当初は奥さんだけが指導をされていたのですが、途中からはご主人の誠さんも教師資格を取得されて夫婦で指導を担当されています。

毎週土曜日の夜、朝霞市中央公民館で午後6時半から7時45分まで初級、8時から中級クラスとなっています。講習種目は、ボールルームダンスのモダン、ラテン10種目。ひとつの種目を2カ月ほどかけて練習します。

取材で訪れた日は、初級がワルツ、中級がタンゴの講習日でした。中級では最初に全員でストレッチを行い、その後一列に並んでウォークを繰り返します。

このときに、ヒール、トゥを正しく動かすことや、しっかり足を使っているかなどが注意されま

す。

その後のステップの講習では神元さん夫妻が踊って見せてから、それぞれ会員に交替で踊らせませす。講習するステップを踊る前には夫妻が分かれて男性と女性にステップの解説を行います。

ご主人は男性の間違いやすい箇所やボディの使い方、ステップのポイントを、奥さんは女性会員を相手に間違いやすい箇所を説明していきます。

その後から、男女が組んで踊ります。夫婦ならではの息の合った指導が印象的でした。

連絡先／神元さん  
TEL 042・996・0416。

▼タンゴでの男女の位置関係を説明するお二人

ステップを踊ってみせる神元さん夫妻

